

令和4年度決算の状況

1 業務の内容

令和4年度における年間総配水量は37,443,770^mで、前年度に対し536,760^m（1.41%）減少し、一日平均配水量は102,586^mでした。

また、配水量のうち県水は33,998,190^mで全体の90.80%を占め、自己水（地下水）は3,445,580^mで9.20%を占めました。

事業収支については、水道事業収益の8,000,372,689円に対し、水道事業費用は6,877,992,800円であり、収支の差引はプラス1,122,379,889円となりました。損益収支では992,138,009円の純利益が生じました。

2 損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：円）

	科 目	金 額
水道事業収益		7,352,999,576
	1 営業収益	6,506,534,698
	2 営業外収益	842,489,534
	3 特別利益	3,975,344
水道事業費用		6,360,861,567
	1 営業費用	6,181,730,513
	2 営業外費用	177,606,843
	3 特別損失	1,524,211
	当年度純利益	992,138,009

3 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

	科 目	金 額
資 産		65,213,105,784
	1 固定資産	56,289,025,604
	2 流動資産	8,924,080,180

（単位：円）

	科 目	金 額
負債・資本		65,213,105,784
	1 固定負債	7,386,467,607
	2 流動負債	2,234,005,270
	3 繰延収益	18,833,673,396
	4 資本金	32,088,178,918
	5 剰余金	4,670,780,593